

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

外で遊ぶって楽しいね

自然の中で自由に遊ぶ ふれあいわんぱーく

親子の遊び場づくり実行委員会は11月4日、立花いこいの森で「ふれあいわんぱーく」を開催しました。これは、自然の中で自由に遊べる場を作り、子どもの健やかな成長を支えることが目的。会場を訪れた約800人の親子は、スタッフ手作りの遊具などで遊んだり、竹とんぼを作ったり、手作りパンをたき火で焼いて食べたりして楽しみました。中でもいかだ遊びは、順番待ちが出るほど大人気。参加した子どもたちは、木の棒を使って不安定ないかだを上手に操縦していました。



楽しそうにいかだを操る子どもたち

みんなで健康を考えよう

柳川市民健康まつり & 市民公開講座

市民健康まつりと市民公開講座が10月27日、水の郷で開催されました。会場には、健診・相談・展示コーナーが設けられた他、わきさか内科医院の脇坂正則院長の講演などがありました。人気の赤ちゃんハイハイ大会には、37人の赤ちゃんが参加。泣いて立ち止まったり、後ろに戻ったりと、思うように前に進んでくれない赤ちゃんに会場は大盛り上がり。ゴール付近では、ビデオカメラやカメラを片手に、お菓子などを見せて懸命に赤ちゃんの気を引こうとする保護者の姿が見られました。



保護者の声援が飛び交った「赤ちゃんハイハイ大会」

山頭火支えたスズメの俳人しのぶ

木村緑平第45回句碑祭

南浜武出身で自由律俳人、木村緑平の第45回句碑祭が、10月22日、柳城児童公園句碑前で催されました。大牟田や田川で炭鉱医などをしながら、5・7・5のリズムにとらわれない自由律の俳句を詠んだ緑平。「放浪の俳人」として有名な種田山頭火を物心両面で支え、3000を超えるスズメを詠んだ句で「スズメの俳人」と呼ばれました。緑平の誕生日に毎年行われる句碑祭に、市内外から約50人が参加。木村緑平顕彰会の椋島守会長らが献酒や献花を行い、偉大な俳人をしのびました。



木村緑平句碑に献花する参加者

お母さんとお皿やコップを作ったよ

城内小学校「親子ふれあい活動」

城内小学校PTAは10月23日、5、6年生の児童と保護者の「親子ふれあい活動」を開きました。5年生は陶芸教室、6年生はソフトボール大会を行いました。陶芸教室では、蒲池焼の土器師、伊藤征隆さんを講師に迎え、親子で陶芸に挑戦。伊藤さんが粘土のこね方や作り方を説明した後、一斉に粘土をこね始めました。前日マグカップとコーヒーセットを親子で作ると決めてきたという児童は「出来上がりが楽しみ」と笑顔で話しました。



夢中で手やヘラで粘土を整える児童と保護者

自分たちの地域を守ろう！

藤吉地域安全安心まちづくり推進大会

市防犯協会藤吉支部は10月28日、藤吉小学校体育館で、安全安心まちづくり推進大会を開きました。西鉄柳川駅や飲食店などの繁華街がある藤吉校区は、犯罪や交通事故が多い地域。このため同支部では毎年大会を開催し意識啓発を図っています。この日は関係者約500人が集まり、犯罪や事故抑止を目指した大会宣言を読み上げた後、県警音楽隊などによる街頭パレードをして、犯罪のない安全で安心なまちづくりを呼びかけました。



柳川駅周辺を街頭パレードし安全安心なまちづくりを訴えた

◆ 俳句

石榴の実二つ下がりし苗木買う

今月の入選作品・課題「石榴」
「眼白」他
応募総数100句

境 幸代 (西浜武)

二人して昭和を語り障子貼る

谷 祥子 (柳町)

山鳥の石榴つきし日暮れどき

松崎やす子 (佃町)

実石榴に己が若さを持て余す

中原由美 (新船津町)

想い出の九十九島に目白追う

古賀俊郎 (新外町)

眼白来る若やいだ気になりし朝

古賀 強 (七ツ家)

眼白籠古い時計と掛けてあり

浦 哲之 (栄)

石榴の実ルビーに負けず輝やけり

田中位緒枝 (豊原)

実石榴の甘い匂いの懐かしさ

徳永エツ子 (徳益)

眼白群れ光かへして枝移る

田中與志子 (六合)

荒れし庭しばし癒して眼白去る

西山幸子 (垂見)

人住まぬ庭に輝く石榴かな

古賀幸子 (横山町)

すきとおる血潮に満ちてざくろ熟れ

龍 政人 (間)

庭先の柿をつつくは眼白かな

黒田和代 (吉富町)

石榴熟れ人と鳥とのにらみ合い

大城靖子 (隅町)

実石榴にサーサー風の鳴る日暮れ

原田アツ子 (栄)

里山に仕掛け罠の目白籠

武藤博文 (上宮永町)

【句評】10月23日は、城内校区の敬老会で270名余りの出席者を得て盛会でした。私も9年前入会のお招きをいただき、お礼のあいさつをいたしました。その席に立花文子さんが、にこやかな顔をして話に耳を傾けて頂いていた姿を忘れることができません。俳人として大先輩でしたから……。

今月の幸代さんの句。石榴の小さな実一つに、写生的の面白

さができました。

◆ 選者の句

実石榴にうだきつきしは何鳥か

鬼郎

俳句を募集しています。選句者は大曲鬼郎さん。12月の課題は「時雨」「落葉」です。入選作品は12月15日号に掲載します。

● 応募方法 俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係(☎77・8425、FAX74・5520)へ、11月29日(※必着)までにお送りください。